



「泉佐野いこらもーる」でワークショップを開催しました（左の写真）。貝塚の日本紙工（株）さんがレーザーで精密にカット加工した段ボール昆虫を組み立て、当館も昆虫の話をしました。市内各所で実施する観察会・ワークショップ等の行事の他に、天王寺動物園、府内市役所や教育施設でPR展示をしています。



日本博物館協会よりイスの寄贈を受けました。館内に1台車イスが常設展示されています。いつでもご利用ください。

答え 写真のサメハダオウギガニは腹部につりがねのような形があるのでオスです

ISSN 2185-9817

自然遊学館だより



JAPAN MUSEUM

Vol.111

2024.12

12月1月2月3月の行事案内

| | |
|-----------|--|
| 12月8日(日) | 自然生態園作業と生物調べ(時間等電話で確認ください 申込不要) |
| 12月14日(土) | 二色の浜の漂着物調べ(時間等電話で確認ください 申込不要) |
| 12月21日(土) | 日本紙工×自然遊学館ワークショップ 段ボールで来年の干支をつくろう(受付12/1~12/15) |
| 1月5日(日) | 七草粥のいまむかし! 午前10時府立青少年自然の家下駐車場集合 七草の採取と七草粥の試食(かゆ代200円) 申込には試食の有無を記入してください(受付12/1~12/26) |
| 1月11日(土) | 二色の浜の漂着物調べ(時間等電話で確認ください 申込不要) |
| 1月25日(土) | 打ち上げ貝拾い 近木川河口右岸に打ちあがる貝を集め同定します 集めた貝はそれぞれ自然遊学館に持ち帰り、標本を作ります(受付1/1~1/19) |
| 2月1日(土) | ノリすき体験 西鳥取漁港(鳥取ノ荘)(実費500円)(受付1/13~1/26) |
| 2月8日(土) | 二色の浜の漂着物調べ(時間等電話で確認ください 申込不要) |
| 2月9日(日) | 自然生態園作業と生物調べ(時間等電話で確認ください 申込不要) |
| 2月22日(土) | せんごくの杜 & 近木川河口バードウォッチング(受付2/1~2/16) |
| 3月1日(土) | 二色の浜の漂着物調べ(時間等電話で確認ください 申込不要) |
| 3月9日(日) | 自然生態園作業と生物調べ(時間等電話で確認ください 申込不要) |
| 3月20日(木) | 自然遊学館研究報告会(興味のある方はご連絡ください) |
| 3月29日(土) | 水生昆虫を調べよう。蕎原周辺のため池(受付3/8~3/23) |

メールで申込の際は、住所(町名まで番地以下は不要です)参加される方の全員のお名前・年齢をご記入いただき、shizen.desk@icloud.com(このページの下にQRコードがあります)までお願いします。抽選による参加の可否につきましては、締め切り後の抽選の結果を代表の方にお知らせします。

QRコードからメールか窓口でお申込みください。申込み多数の場合は抽選になります。

Instagram



YouTube



行事申込メール



Facebook



ホームページ



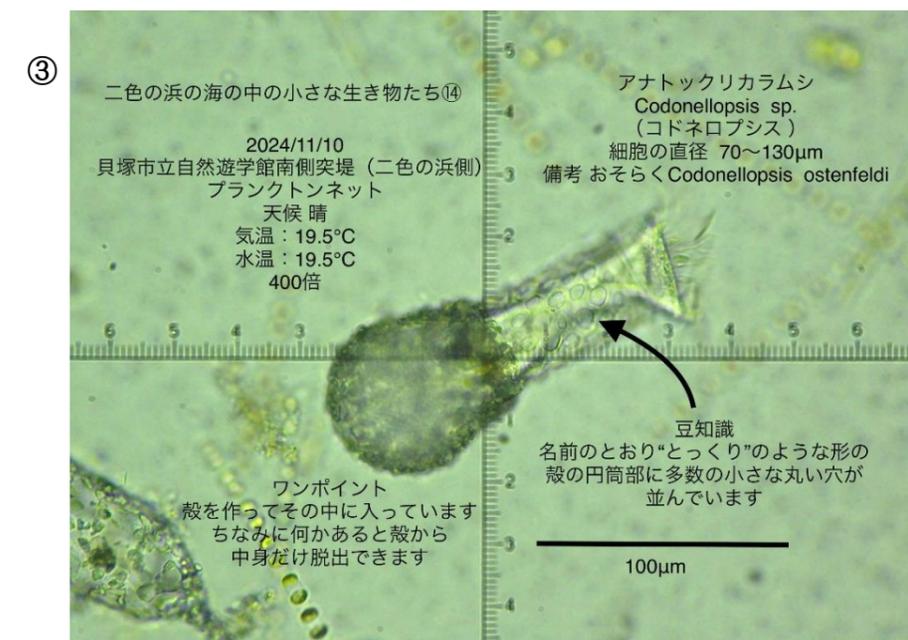
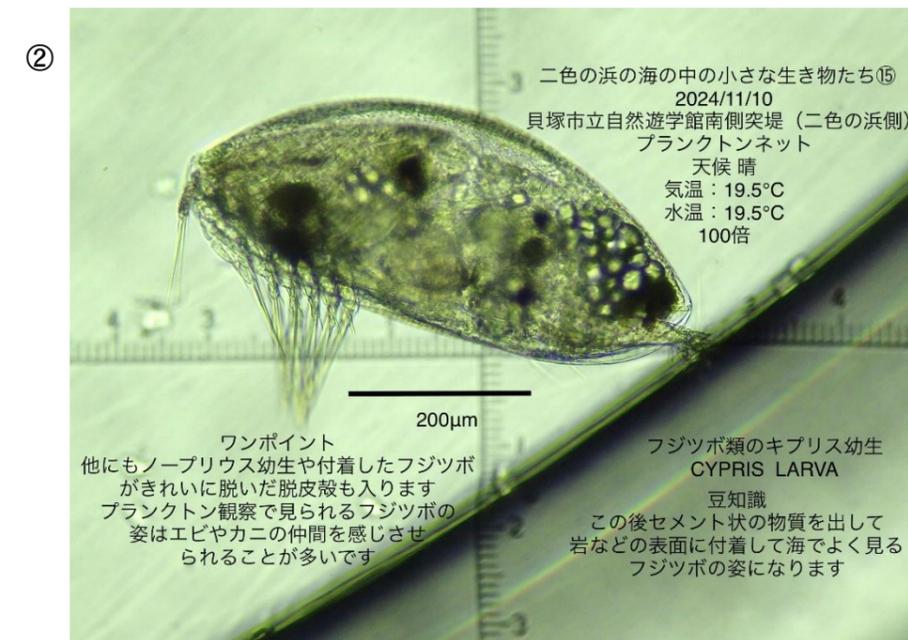
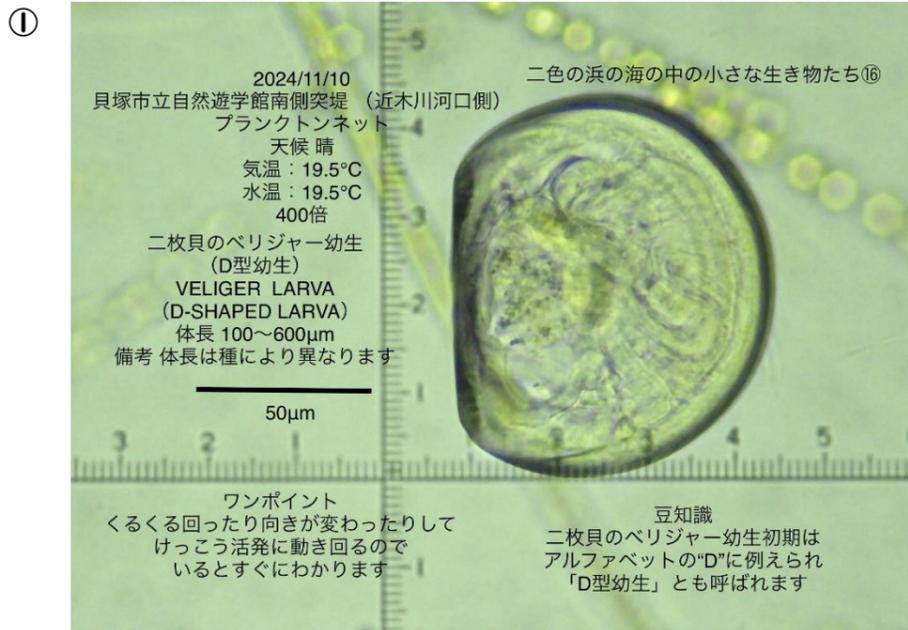
しぜん遊がくかん

貝塚市立自然遊学館

貝塚市立自然遊学館(登録博物館)
〒597-0091
大阪府貝塚市二色3丁目26-1
TEL:072-431-8457



ルリハツタケ *Lactarius indigo* 大阪府レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類
ハツタケ(初茸)とつくだけに同じ属のキノコの種類ですが、本種は種小名にあるインディゴ indigo が示すように、ブルーの色合いをしています。食用になるとはいうものの、傷をつけると青い乳液が出て、後に傷ついた組織は緑色に染まるという特徴もあります。珍しいキノコですが、2015年に蕎原で発見して以来、定期的にその周辺で見つかっています。この写真は2024年10月14日に蕎原で撮影したものです。



自然遊学館にはここを拠点としてたくさんの市民の皆さんが、それぞれのテーマで貝塚の自然を研究されています。

二色の浜の海を調査されている、岡谷 崇宏さん (大阪湾海岸生物研究会) より提供されました、プランクトンの写真を紹介いたします。いずれも11月10日に二色の浜近木川河口突堤付近で採集されたものです。

① **二枚貝**の多くは産卵した後、殻をもたないトロコフォア幼生そして写真のようなDの型をした**ベリジャー幼生**として水中を浮遊します。その後は底生生活に移り成体になります。400倍で見えていますので、本当の大きさは1mmにも満たないものです。

② **フジツボ**は雌雄同体 (しゅうどうたい 雄と雌の生殖器を両方持っている) 受精卵は殻の中で保たれ、孵化するとノープリウス幼生として外に出ます。その後写真の**キプリス幼生**となって他の生体が固着している場所などに接着して固着生活に移ります。貝塚市立自然遊学館の展示水槽にもフジツボの幼生が海水に混じって入るとガラスなどで小さなフジツボになっています。水槽をよくみて見つけて下さい。

③ **アナトックリカラムシ**殻を作ってその中に入っています。何かあると殻の部分を置いて中身だけ脱出します。

※ 1mm = 1000µm
µm: マイクロメートル



ナニワトンボ *Sympetrum gracile*

オスの体色が青灰(灰色がかった青)色をしている赤トンボで、瀬戸内海周辺の樹林に囲まれた丘陵地の浅い池沼に生息します。名前の由来は初めに発見された浪速(なにわ)にちなんでいます。成虫は6月下旬から出現し、11月末まで見られます。大阪府では絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

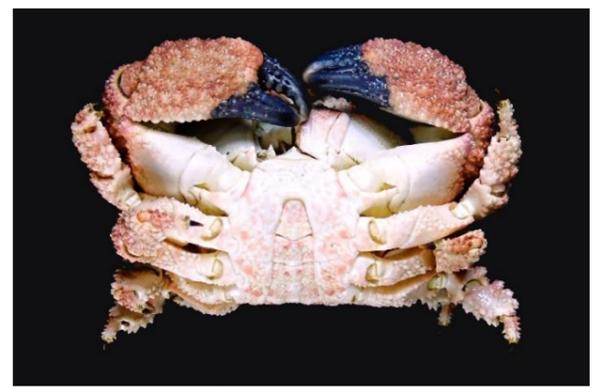
2024.10.20 せんごくの杜で採集

サメハダオウギガニ *Actaea semblatae*

体全体に顆粒突起があるため、サメ肌と名付けられたオウギガニ科の種。貝塚市の海浜緑地のじゃり浜海岸で2024年6月21日に市民の方が打上げられた死体を拾われました。大阪府では泉南郡岬町の磯などで生息が確認されていますが、貝塚市ではこれまで生体の記録がありませんでした。(カニは腹面を見るとオス・メスがおおよそ判別できます。腹部の形が三角形やつりがね型になっていたらオスです。メスは卵を抱くため丸みをおびています)

この写真の**サメハダオウギガニ**はオス・メスのどちらでしょうか。

答えはこの自然遊学館だより111号のどこかにあります。



最小目盛り 1mm